

# 令和3年度 施策評価シート

基本目標		区民と区が協働で「すみだ」をつくる
政策	520	生涯学習・スポーツ活動の輪が広がるまちをつくる
施策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる
施策の目標	子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も、誰もが気軽にスポーツを楽しみ、スポーツを通じた仲間づくりや、地域での交流が行われています。	

## 1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「週に1回以上運動・スポーツをしている」成人区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					45.0					50.0
実績	38.6	38.6	40.9	40.9	64.3					
指標名	「いつでもスポーツを楽しむことができる環境が整備されている」と思う区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					55.0					58.0
実績	49.9	49.9	43.9	43.9	48.6					

## 2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
<p>指標の実数値は住民意識調査で把握している。</p> <p>上段について、東京都調査では、スポーツの定義を「勝敗や記録を競うものだけでなく、ウォーキングや散歩など、健康づくりのために目的を持って自主的に行う身体活動を含める」としていることから、令和2年度の住民意識調査から東京都の定義と合わせることとした。</p> <p>下段については減少傾向にあったが、令和2年度は上昇に転じており、引き続き今後の動向を注視する。</p>	H30	53,405
	R1	51,136
	R2	23,281

## 3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
C	各事業について必要性は高いと判断しているが、スポーツ実施率が低い世代があるため、スポーツをする環境をハード・ソフト両面から工夫する必要がある。

## 4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
<p>本区の高齢化率は今後も進んでいくことが予測されており、生涯スポーツの促進や競技スポーツの振興は、区民の健康増進及び体力向上の観点からも、欠かすことのできない重要な施策となっている。</p>	
【今後の具体的な方針】	
<p>区の住民意識調査の結果によると、男性40代でスポーツ実施率が高くなっているものの、男女共に30代の子育て・働き盛り世代のスポーツ実施率が低くなっている。運動やスポーツに親しむことは、地域との交流や親子がふれあう機会の創出、生活習慣病の予防等の観点からも有意義で、こうした世代に対するきめ細やかなアプローチが必要である。合わせて、区民が健康で豊かな生活を送れるよう、誰もが運動やスポーツを楽しめる環境を整備していく必要がある。</p> <p>今後は、新型コロナウイルス感染症の影響によるスポーツを取り巻く環境の変化を踏まえ、新しい生活様式における既存事業の見直しなどに取り組んでいく。</p>	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
					評価対象年度	
1	障害者(児)スポーツレクリエーション大会運営費	0	1,764	1,764	45	改善・見直しのうえ 継続
					64.3	令和2年度
2	区民スポーツ教室経費	7,542	7,058	14,600	45	改善・見直しのうえ 継続
					64.3	令和2年度
3	スポーツ施設開放事業	46	2,647	2,693	45	改善・見直しのうえ 継続
					64.3	令和2年度
4	区民体育大会兼都民体育大会運営費	442	7,058	7,500	45	改善・見直しのうえ 継続
					64.3	令和2年度
5	区民体育祭(総合開会式含む)	1,121	7,058	8,179	45	改善・見直しのうえ 継続
					64.3	令和2年度
6	墨東五区大会事業費	0	1,764	1,764	45	改善・見直しのうえ 継続
					64.3	令和2年度
7	区民納涼民踊大会	0	1,764	1,764	45	改善・見直しのうえ 継続
					64.3	令和2年度
8	姉妹区親善スポーツ大会運営費	0	1,764	1,764	45	改善・見直しのうえ 継続
					64.3	令和2年度
9	ホームタウン・スポーツチームの育成	160	4,411	4,571	45	改善・見直しのうえ 継続
					64.3	令和2年度
10	野球場の借上げ事業	13,970	1,764	15,734	80	統合や縮小を検討
					68	令和2年度
11	墨田区総合体育館	716,108	7,058	723,166	461,263	現状維持
					251,933	令和2年度
12	スポーツプラザ梅若	74,819	2,647	77,466	86,000	現状維持
					46,719	令和2年度
13	両国屋内プール	219,917	2,647	222,564	74,000	現状維持
					34,953	令和2年度
14	すみだスポーツ健康センター	158,902	2,647	161,549	145,581	現状維持
					34,818	令和2年度
15	墨田区総合運動場	57,884	2,647	60,531	95,026	現状維持
					68,490	令和2年度

# 令和3年度 事務事業評価シート

施策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる	部内優先順位
事業名	障害者(児)スポーツレクリエーション大会運営費		1
目的	当該事業を通じ障害者の健康の保持・増進を図るほか、障害がある方も気軽にスポーツをすることができるようにする。また、地域の交流の場として、障害者施設間をはじめとする各団体の相互理解、親睦を深めること、一般区民への啓蒙・周知を図る。		主管課・係(担当)
			スポーツ振興課スポーツ振興担当 5608-6312
対象者	区内障害者施設の利用者		
根拠法令 関連計画	スポーツ基本法第22条		
実施基準	法令基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 (人員体制)常勤3人 (委託先)特定非営利活動法人のぞみ外
事業内容	例年、10月第3日曜日に墨田区総合体育館において、各障害者団体、福祉作業所等の利用者及びその家族が参加する運動会型レクリエーション大会を行っている。 内容については、各団体から実行委員を選出し、実行委員会において決定し、買い物競走・玉入れ・パン食い競走など、全13種目を実施している。運営は、スポーツ推進委員、その他の協力団体により行っている。		
経過	開始年度	昭和56年	終了予定
	昭和56年の国際障害者年を契機として開催され、以後継続している。		
議会質問の状況	[H28第4回定例会(11.29):井上議員] スポーツに参加したい障害者や障害児が増えているが、使える施設が少ないし、指導者もいない。パラリンピックの選手に依頼してスポーツ教室を開催してはどうか。また、障害者のプールの使用について、もっと機会を増やすことはできないか。 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、障害者スポーツの振興を図っていくことは大変重要である。総合体育館では、障害者スポーツ・レクリエーション大会等を開催しており、こうしたイベントを契機に、パラスポーツの指導者を招きスポーツクリニックなどを開催することができれば、障害者スポーツの普及・振興の観点からも大変有意義であるため、今後検討していく。		
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) ・例年、6月上旬から中旬に実行委員会設置、10月第3日曜日に実施。 ・令和2年度・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。		

予算・決算額推移(千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額(事業費)		2,918	3,092	3,340	3,642	0	3,283
A.決算額(令和3年度は見込み)		2,821	2,972	3,170	3,495	0	3,283
財源	国						
	都	2,256	2,377	2,535	3,000	0	1,641
	その他						
一般財源		565	595	635	495	0	1,642
執行率(%)		96.7%	96.1%	94.9%	96.0%	#DIV/0!	100.0%
B.人コスト							
総事業決算額(A+B)		2,821	2,972	3,170	3,495	0	
主な事業費用の説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場の設営・撤去委託費</li> <li>・参加者のお弁当代</li> <li>・競技用品、表彰・記念品代</li> </ul>					

予算書P(令和3年度)		P123-10		執行実績報告書P(令和2年度)				
事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		975	R7	目標	750	775	800	825
				実績	770	743	726	693
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	850	875	900	925	950	975
	実績	0	0					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由)スポーツを行う場及び交流の場として、継続して参加している区内障害者施設の利用者の数を計測する必要があるため (目標値の理由)スポーツに関心を持っている区内障害者施設の利用者による参加者数の増を想定した。ただし、過去の実績から大幅な増加は見込めないことから、目標値は慎重に設定した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「週に1回以上運動・スポーツをしている」成人区民の割合				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
70		R7	目標	41	42	43	44	
			実績	38.6	38.6	40.9	40.9	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		45	66	67	68	69	70	
実績	64.3							
指標の選定理由及び目標値の理由								
(指標の選定理由)障害者(児)スポーツレクリエーション大会を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するのかを図る必要があるため (目標値の理由)スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	毎年一定の参加者があり、リピーターも多いことから区民のニーズがあるといえ、当該事業の必要性は高い。また、区内障害者施設の利用者が一堂に集まる数少ない事業であり、地域交流の場として重要であることから、今後も安全面等を考慮して改善しながら継続していく。 また、新型コロナウイルスへの対応について、国や都の動向を注視しながら、随時検討していく。

課題・問題点
<p>・大会実施工程や種目を工夫・改善し、より多くの区内障害者施設の利用者が参加できるようにする必要がある。</p> <p>【新型コロナウイルス感染症関連】 屋内での実施かつ700人規模の人が密集・密接するため、感染リスクが高い。十分な感染防止対策が取れるかどうか実行委員会では協議の上、大会実施の可否を判断していく必要がある。</p>

施 策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる			部内優先順位
事 業 名	区民スポーツ教室経費				2
目 的	すべての区民が参加できるスポーツ活動の場を設け、区民の健康増進及び体力向上を図る。				主管課・係(担当)
					スポーツ振興課スポーツ振興担当
					5608-6312
対 象 者	区内在住・在勤・在学の成人				
根拠法令 関連計画	スポーツ基本法第22条				
実施基準	法令基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	(人員体制)常勤2人 (委託先)特定非営利活動法人スポーツアあずま、特定非営利活動法人両国倶楽部
事業内容	<p>以下の各種スポーツ教室について、委託を行う。</p> <p>(1)ちょっと楽しいスポーツ教室 ・バドミントン・ミニテニス・ビーチボールバレー・ラージボール卓球といったニュースポーツの体験教室 ・毎回の教室では、スポーツ推進委員が指導者として教室を行う。</p> <p>(2)高齢者健康体操教室 ウォーキング、ストレッチング、ボールを使ったエクササイズ、リズムダンスなど高齢者(区内在住の65歳以上で要介護認定を受けていない者)の健康増進を目的とした体操教室</p> <p>(3)ボート教室 ファミリー向けの初心者ボート教室</p>				
経 過	開始年度	以下のとおり		終了予定	
	<p>(1)ちょっと楽しいスポーツ教室 ・昭和51年度から北部と南部の小学校等で実施している。 ・平成23年度からは第四吾嬬小学校及び外出小学校で実施している。</p> <p>(2)高齢者健康体操教室 ・昭和52年度から社会体育課体育係(現スポーツ振興課スポーツ振興担当)から体育館へ事業を移管した。 ・平成22年度、総合体育館の新築に伴い、体育館からスポーツ振興課スポーツ振興担当に事業を移管した。</p> <p>(3)ボート教室 平成27年度から平井橋水防倉庫で漕艇庫を供用したため、ボート教室を実施している。</p>				
議会質問 の 状 況	<p>[H28予算特別委員会(3.11)井上委員] スポーツ教室などでも、参加者は女性が大変多く、男性の高齢者は少ない。介護予防の観点から、男性にももっと積極的に、スポーツやいろいろな地域の活動に参加してもらいたい。 スポーツ振興の観点からは答弁なし</p> <p>[R2決算特別委員会(10.23)中村委員] 2025年問題に向けて、極力、医療、介護、社会保障費を下げていかなければならない。その観点から、健康寿命を延ばすことが重要だと考えており、高齢者健康体操教室をより一層広めていく必要がある。 事業を拡大すると、会場確保や講師の手配といった課題があるため、委託先である総合型地域スポーツクラブとも相談しながら、検討を進めていきたい。</p>				
そ の 他 特 記 事 項	<p>(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)</p> <p>(1)ちょっと楽しいスポーツ教室:新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>(2)高齢者健康体操教室:新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止(通常1年間にわたり開催のところ、半年間の開催となった。)</p>				

予算・決算額推移(千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額(事業費)		1,350	11,150	11,221	11,045	7,650	12,021
A.決算額(令和3年度は見込み)		1,350	11,089	11,142	11,045	7,542	12,021
財 源	国						
	都		3,402	3,402	3,451	2,784	3,702
	その他	172	2,412	2,412	2,201	1,373	2,897
一般財源		1,178	5,275	5,328	5,393	3,385	5,422
執行率(%)		100.0%	99.5%	99.3%	100.0%	98.6%	100.0%
B.人コスト							
総事業決算額(A+B)		1,350	11,089	11,142	11,045	7,542	
主な事業費用の説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>各教室の事業運営委託費</li> <li>参加者の保険料及び保険料支払いのための振込手数料</li> </ul>					

予算書P (令和3年度)		P122-3		執行実績報告書P (令和2年度)			P56-3		
事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数					単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
		18,000	R7	目標	13,000	13,500	14,000	14,500	
				実績	13,965	14,643	15,378	14,110	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目標	15,500	16,000	16,500	17,000	17,500	18,000	
		実績	6,493						
	指標の選定理由及び目標値の理由								
	(指標の選定理由) スポーツを行う場及び交流の場として、継続して参加している区民の数を計測する必要があるため (目標値の理由) 積極的な広報を行うとともに、口コミ等による新たな参加者の増加も想定した。								
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「週に1回以上運動・スポーツをしている」成人区民の割合					単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1		
70		R7	目標	41	42	43	44		
			実績	38.6	38.6	40.9	40.9		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7		
	目標	45	66	67	68	69	70		
	実績	64.3							
指標の選定理由及び目標値の理由									
(指標の選定理由) 区民スポーツ教室事業を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するのかを図る必要があるため (目標値の理由) スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。									

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	スポーツをする機会の確保、スポーツを通じた地域コミュニティの醸成・活性化策として有効であるとともに区民の健康増進・体力向上に資する施策である。今後さらなる周知を行い、スポーツ実施率向上を目指す。 また、新型コロナウイルスへの対応について、国や都の動向を注視しながら、随時検討していく。

課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちょっと楽しいスポーツ教室 新規の受講者が少なく、小学校の体育館を会場としているため、学校事業等で会場が使用できない場合の代替場所の確保が困難となっている。</li> <li>・高齢者体操教室 教室で使用しているボールやマットなどの用具が破損・不足している。</li> <li>・ボート教室 年度によって、参加者数にバラつきがあるため、積極的な広報を行う必要がある。</li> </ul> <p>【新型コロナウイルス感染症関連】 全ての教室について、参加者同士の接触や受付・更衣などでの「3密」発生の防止等、運営面での課題について、委託先や講師と協議する必要がある。 特に高齢者健康体操教室については、参加者から実施の要望も非常に多く、高齢者の運動不足解消・健康増進を目的とした事業であるため、事業実施に前向きに検討していく必要がある。</p>

施策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる			部内優先順位
事業名	スポーツ施設開放経費				3
目的	区民にとって身近な場所でスポーツを行える機会を提供することで、スポーツに触れ合うきっかけにしてもらうとともに、地域交流を促進する。				主管課・係(担当)
					スポーツ振興課スポーツ振興担当 5608-6312
対象者	中学生以上の区内在住・在勤・在学者				
根拠法令 関連計画	墨田区スポーツ開放校基本要綱				
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	(人員体制)常勤2人 (委託先)特定非営利活動法人スポーツ アアずま、特定非営利活動法人両国倶楽 部
	区内の中学校6校・小学校1校・旧学校施設1箇所に指導員を置き、中学生以上の区民に開放する。				
事業内容	バレーボール 錦糸中学校 毎週水曜日午後7時～9時 軽運動 墨田中学校 毎週水曜日午後7時～9時 (令和3年度からニュースポーツに変更) バドミントン 竪川中学校、吾嬬立花中学校、吾嬬第二中学校、旧向島中学校 毎週水曜日午後7時～9時 バスケットボール 寺島中学校 毎週水曜日午後7時～9時 ソフトテニス 寺島中学校 毎週日曜日午後1時～4時 硬式テニス 寺島中学校 毎週水曜日午後7時～9時 卓球 曳舟小学校 毎週火曜日午後7時～9時				
	開始年度	昭和43年度		終了予定	
経過	昭和43年度から、区民が身近な場所でスポーツをする機会と場の提供を積極的に進めるため、区内の中学校体育館や、校庭、プールを開放し、区民のスポーツ振興を図るため開始した。				
議会質問 の状況	[H12決特(10.26)桜井委員] スポーツ施設開放の種目に制限はあるのか。 種目上の制限は特にないと考えている。				
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 4月第2週から翌年3月まで実施 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。				

予算・決算額推移(千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額(事業費)		4,245	4,302	4,486	4,603	56	4,506
A.決算額(令和3年度は見込み)		4,159	4,274	4,460	4,579	46	4,506
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		4,159	4,274	4,460	4,579	46	4,506
執行率(%)		98.0%	99.3%	99.4%	99.5%	82.1%	100.0%
B.人コスト							
総事業決算額(A+B)		4,159	4,274	4,460	4,579	46	
主な事業費用の説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業運営委託費</li> <li>・指導員の保険料及び保険料支払いのための振込手数料</li> <li>・退任指導員への記念品等購入費</li> </ul>					

予算書P(令和3年度)		P122-4		執行実績報告書P(令和2年度)			P56-4		
事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数					単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
		6,300	R7	目標	5,850	5,900	5,950	6,000	
				実績	5,866	6,128	6,105	6,152	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目標	6,050	6,100	6,150	6,200	6,250	6,300	
		実績	0						
	指標の選定理由及び目標値の理由								
	(指標の選定理由)スポーツを行う場及び交流の場として、継続して参加している区民の数を計測する必要があるため (目標値の理由)積極的な広報を行うとともに、口コミ等による新たな参加者の増加も想定した。								
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「週に1回以上運動・スポーツをしている」成人区民の割合					単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1		
70		R7	目標	41	42	43	44		
			実績	38.6	38.6	40.9	40.9		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7		
	目標	45	66	67	68	69	70		
	実績	64.3							
指標の選定理由及び目標値の理由									
(指標の選定理由)スポーツ施設開放事業を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するかを図る必要があるため (目標値の理由)スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。									

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	一定数の参加者がいることから、区民のスポーツ振興及び地域交流の促進を図る手段としてスポーツ施設開放は適切であると思われる。また、地域交流の場としても参加者には定評があり、参加者が友人を連れてきて新たな交流が生まれる等の波及効果もあることから、今後も改善しながら継続していく。また、新型コロナウイルスへの対応について、国や都の動向を注視しながら、随時検討していく。

課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・未経験者及び初心者が新規参入しやすい環境をつくれるよう、指導員と協力していく必要がある。</li> <li>・学校の統廃合等により、実施可能な施設が減少してきているため、事業の実施場所確保のため、中学校、旧学校施設との連携を図るとともに、施設の確保ができない場合はその他の施設の利用も検討する必要がある。</li> </ul> <p>【新型コロナウイルス感染症関連】 小中学校の施設で実施していることから、事業の実施には学校施設の貸出し再開が前提となる。参加者同士の接触や受付・更衣などでの「3密」発生の防止等、運営面での課題について、委託先や指導員と協議する必要がある。</p>



施策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる			部内優先順位
事業名	区民体育大会兼都民体育大会運営費				4
目的	各種スポーツ競技大会を開催し、日頃の成果を発揮する場を設け、区民のスポーツ活動への参加意欲を高め、併せて健康増進と体力・技術の向上を図る。また、大会を通じて区民相互の交流を深める。				主管課・係（担当）
					スポーツ振興課スポーツ振興担当 5608-6312
対象者	区内在住・在勤・在学者				
根拠法令 関連計画	スポーツ基本法第22条				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	(人員体制)常勤2人
事業内容	墨田区民体育大会(春季大会)は、都民体育大会、墨東五区大会等の予選を兼ねて、多種目にわたり競技が行われる。なお、各種目入賞者には区から賞状を、優勝者には区長杯が授与される。				
経過	開始年度	昭和22年度	終了予定		
	昭和22年、憲法施行記念都民大会が開催されたことを契機に行われた。その後、種目や参加選手数が増えたことや、都民体育大会派遣選手の選考などから区民体育大会を春に、区民体育祭を秋に実施することとした。				
議会質問 の状況					
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施競技なし。 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一部の競技のみ実施				

予算・決算額推移(千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額(事業費)		6,614	7,154	7,130	7,279	1,754	6,978
A.決算額(令和3年度は見込み)		6,373	6,658	6,884	6,575	442	6,978
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		6,373	6,658	6,884	6,575	442	6,978
執行率(%)		96.4%	93.1%	96.5%	90.3%	25.2%	100.0%
B.人コスト							
総事業決算額(A+B)		6,373	6,658	6,884	6,575	442	
主な事業費用の説明							

予算書P(令和3年度)		P122-6		執行実績報告書P(令和2年度)			P56-6	
事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数(区民体育大会・都民体育大会)				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		11,000	R7	目標	10,500	10,500	10,500	10,500
				実績	9,887	9,378	9,022	8,857
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10,500	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
	実績	0						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由)競技者として大会に参加する区民の数を計測する必要があるため (目標値の理由)スポーツに関心を持ち、体力・技術の向上を目的に、競技者として大会に出場する参加者数の増を想定した。 ただし、競技者の大幅な増加は見込めないことから、目標値は慎重に設定した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「週に1回以上運動・スポーツをしている」成人区民の割合				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
70		R7	目標	41	42	43	44	
			実績	38.6	38.6	40.9	40.9	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		45	66	67	68	69	70	
実績	64.3							
指標の選定理由及び目標値の理由								
(指標の選定理由)区民体育大会を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するかを図る必要があるため (目標値の理由)スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	競技スポーツ振興の根幹的な事業であり、墨田区体育協会加盟団体により効果的な運営がされている。しかし、近年全体参加者数が減少傾向にあるため、PR方法や実施方法等を改善しながら参加者の増加を目指していく。 また、新型コロナウイルスへの対応について、国や都の動向を注視しながら、随時検討していく。

課題・問題点
大会競技日数の増加により休日に会場を多く使用するため、一般区民のスポーツする機会を奪いかねない。そのため、効率的な大会運営について、各競技団体と協議していく必要がある。  【新型コロナウイルス感染症関連】 競技によって大会規模や実施場所・方法等が異なり、感染リスクの高さにも違いがあるため、十分な感染防止対策が取れるかどうか各競技団体と協議の上、大会実施の可否を判断していく必要がある。

補助金名称	墨田区体育協会補助金			主管課・係（担当）		
根拠法令	墨田区体育協会補助金交付要綱			スポーツ振興課スポーツ振興担当		
補助概要	墨田区体育協会に対し、区民体育大会及び区民体育祭等の区との共催事業や事務経費等について補助金を交付する。			5608-6312		
目的	墨田区体育協会に対し、区民体育大会及び区民体育祭等の区との共催事業や事務経費等について補助金を交付し、その運営等を支援することにより、本区におけるスポーツの振興と区民の体力向上を図る。					
対象	墨田区体育協会					
基準	区独自基準					
補助条件	1 区民体育大会経費及び区民体育祭経費 2 都民体育大会等に参加する選手・役員の派遣費 3 前二号に掲げるもののほか、区長が必要と認める経費					
経過	開始年度	昭和22年度	終了予定			
	昭和22年、憲法施行記念都民大会が開催されたことを契機に行われた。その後、種目や参加選手数が増えたことや、都民体育大会派遣選手の選考などから区民体育大会を春に、区民体育祭を秋に実施することとした。					
議会質問の状況	【H29第3回定例会 中沢議員】 各体育協会加盟団体とオリンピック・パラリンピック大会に向けての連携について、現在どのような取組をされているのか。 墨田区体育協会は、区内のスポーツ関連団体を取りまとめる重要な協会で、今後、各加盟団体と連携し、大会の機運を盛り上げ、これを契機とした区民の体力向上やスポーツを身近に感じられるような取組を展開していく。 オリンピック・パラリンピック期間中はボクシング競技が行われるため、ボクシング連盟の医事委員会、又は組織委員会から派遣される可能性があるかもしれませんが、本区の医療関係者も参加要請される可能性も想定できる。区の体育協会内に医事委員会を設立し、大会期間中にサポートできる体制を整えていくことが必要ではないか。 医療体制に関する具体的な情報は、組織委員会や東京都から入っていない。今後、スポーツファーマシストをはじめとした資格のある医療関係者の把握に努めるなど、医療関係団体からさまざまな情報収集を行い、区として対応が求められる場合には、連携して取り組んでいく。また、体育協会内の医事委員会設置については、今後、都や組織委員会の動向を注視し、必要に応じて調整していく。					
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）					

予算・決算額推移（千円）		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算額（事業費）		7,702	7,702	7,752	7,952	8,652	8,222
決算額（令和3年度は見込み）		7,639	7,525	7,692	7,535	1,333	8,222
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		7,639	7,525	7,692	7,535	1,333	8,222
執行率（％）		99.2%	97.7%	99.2%	94.8%	15.4%	100.0%

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数(区民体育大会及び区民体育祭)				単位	人	
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
		25,500	R7	目標	24,500	24,500	24,500	24,500	
				実績	23,525	22,564	21,926	20,135	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目標	24,500	25,500	25,500	25,500	25,500	25,500	
		実績	1,376						
		指標の選定理由及び目標値の理由							
		(指定の選定理由)競技者として大会に参加する区民の数を計測する必要があるため。 (目標値の理由)スポーツに関心を持ち、体力・技術の向上を目的に、競技者として大会に出場する参加者数の増を想定した。ただし、競技者の大幅な増加は見込めないことから、目標値は慎重に設定した。							
		目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「週に1回以上運動・スポーツをしている」成人区民の割合				単位	%
最終目標値	目標年度				基準年(H28)	H29	H30	R1	
70	R7			目標	41	42	43	44	
				実績	38.6	38.6	40.9	40.9	
	R2			R3	R4	R5	R6	R7	
目標	45			66	67	68	69	70	
実績	64.3								
指標の選定理由及び目標値の理由									
(指標の選定理由)区民体育大会・区民体育祭を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するのかを図る必要があるため。 (目標値の理由)スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。									
評価結果				評価についての説明・今後の方向性等					
現状維持		墨田区体育協会の加盟団体が区民体育大会等を主管して運営することで、専門性もあり民間委託等に比べ安価に運営することができている。 また、新型コロナウイルスへの対応について、国や都の動向を注視しながら、随時検討していく。							

課題・問題点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・非加盟団体からの新たな加入申請については、実績内容を踏まえ、慎重に審査する必要がある。</li> <li>・区民の体力向上及びスポーツ精神の涵養を図ることを目的に、オリンピック競技の開催自治体として、当該協会が区とともにどのような役割を担えるかを協議していく必要がある。</li> </ul>	
<p>【新型コロナウイルス感染症関連】</p> <p>大会の規模縮小や中止により、必要な補助金が減少、不用になる競技団体もあれば、大会の実施に伴い、消毒液の購入や誘導員の配置等の感染症対策費が発生し、必要な補助金が増加する競技団体も出てくると考えられる。そのため、これまで以上に慎重な審査が必要である。</p>	

施策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる	部内優先順位
事業名	区民体育祭運営費		5
目的	各種スポーツ競技大会を開催し、日頃の成果を発揮する場を設け、区民のスポーツ活動への参加意欲を高め、併せて健康増進と体力・技術の向上を図る。また、大会を通じて区民相互の交流を深める。		主管課・係（担当）
			スポーツ振興課スポーツ振興担当 5608-6312
対象者	区内在住・在勤・在学者		
根拠法令 関連計画	スポーツ基本法第22条		
実施基準	法令基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 (人員体制)常勤2人
事業内容	墨田区民体育祭(秋季大会)は、その名のとおりまさに体育の祭典であり、多種目にわたり競技が行われる。なお、各種目の入賞者には区から賞状、メダル等を、優勝者には区長杯が授与される。		
経過	開始年度	昭和22年度	終了予定
	昭和22年、憲法施行記念都民大会が開催されたことを契機に行われた。その後、種目や参加選手数が増えたことや、都民体育大会派遣選手の選考などから区民体育大会を春に、区民体育祭を秋に実施することとした。		
議会質問 の状況			
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 令和2年度・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一部の競技のみ実施		

予算・決算額推移（千円）		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額（事業費）		7,294	7,849	7,895	8,315	2,566	8,580
A.決算額（令和3年度は見込み）		7,033	7,510	7,376	6,855	1,121	8,580
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		7,033	7,510	7,376	6,855	1,121	8,580
執行率（％）		96.4%	95.7%	93.4%	82.4%	43.7%	100.0%
B.人コスト							
総事業決算額（A+B）		7,033	7,510	7,376	6,855	1,121	
主な事業費用の説明							

予算書P(令和3年度)		P123-7		執行実績報告書P(令和2年度)			P56-7		
事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数(区民体育祭)					単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
		14,500	R7	目標	14,000	14,000	14,000	14,000	
				実績	13,638	13,186	12,904	11,656	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目標	14,000	14,500	14,500	14,500	14,500	14,500	
		実績	1,376						
	指標の選定理由及び目標値の理由								
	(指標の選定理由)競技者として大会に参加する区民の数を計測する必要があるため (目標値の理由)スポーツに関心を持ち、体力・技術の向上を目的に競技者として大会に出場する参加者数の増を想定した。 ただし、競技者の大幅な増加は見込めないことから、目標値は慎重に設定した。								
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「週に1回以上運動・スポーツをしている」成人区民の割合					単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1		
70		R7	目標	41	42	43	44		
			実績	38.6	38.6	40.9	40.9		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7		
	目標	45	66	67	68	69	70		
	実績	64.3							
指標の選定理由及び目標値の理由									
(指標の選定理由)区民体育祭(総開会式含む)を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するのかを図る必要があるため (目標値の理由)スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。									

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	競技スポーツ振興の根幹的な事業であり、墨田区体育協会加盟団体により効果的な運営がされている。しかし、近年全体参加者数が減少傾向にあるため、PR方法や実施方法等を改善しながら参加者の増加を目指していく。 また、新型コロナウイルスへの対応について、国や都の動向を注視しながら、随時検討していく。

課題・問題点
大会競技日数の増加により休日に会場を多く使用するため、一般区民のスポーツする機会を奪いかねない。そのため、効率的な大会運営について、各競技団体と協議していく必要がある。  【新型コロナウイルス感染症関連】 競技によって大会規模や実施場所・方法等が異なり、感染リスクの高さにも違いがあるため、十分な感染防止対策が取れるかどうか各競技団体と協議の上、大会実施の可否を判断していく必要がある。

施策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる			部内優先順位
事業名	墨東五区各種大会運営費				6
目的	14種目について墨東五区選抜選手による対抗戦を開催し、五区の親睦と技術の向上を図る。				主管課・係(担当)
					スポーツ振興課スポーツ振興担当 5608-6312
対象者	区内在住・在勤・在学の選抜選手				
根拠法令 関連計画	スポーツ基本法第22条				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	(人員体制)常勤3人
事業内容	墨東五区(墨田区、江戸川区、江東区、葛飾区、足立区)で、毎年14種目のうち2~3種目を担当競技として持ち回り、各区選抜選手対抗の大会を実施する。 種目内訳:卓球、バドミントン、バスケットボール、バレーボール、ソフトテニス、柔道、剣道、陸上競技、弓道、駅伝競走、空手道、水泳、軟式野球、サッカー				
経過	開始年度		終了予定		
	墨田区体育連盟(協会)が実施していたものを、行政が引き続き実施				
議会質問 の状況					
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 令和2年度・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。				

予算・決算額推移(千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額(事業費)		2,148	2,329	2,543	3,331	0	7,711
A.決算額(令和3年度は見込み)		1,964	1,638	1,775	2,270	0	7,711
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		1,964	1,638	1,775	2,270	0	7,711
執行率(%)		91.4%	70.3%	69.8%	68.1%	#DIV/0!	100.0%
B.人コスト							
総事業決算額(A+B)		1,964	1,638	1,775	2,270	0	
主な事業費用の説明							

予算書P(令和3年度)		P123-8		執行実績報告書P(令和2年度)					
事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数					単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
		700	R7	目標	650	650	650	650	
				実績	644	678	712	661	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目標	650	700	700	700	700	700	
	実績	0	0						
	指標の選定理由及び目標値の理由								
	(指標の選定理由)競技者として大会に参加する区民の数を計測する必要があるため (目標値の理由)スポーツに関心を持ち、体力・技術の向上を目的に競技者として大会に出場する参加者数の増を想定した。ただし、競技者の大幅な増加は見込めないことから、目標値は慎重に設定した。								
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「週に1回以上運動・スポーツをしている」成人区民の割合					単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1		
70		R7	目標	41	42	43	44		
			実績	38.6	38.6	40.9	40.9		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7		
目標		45	66	67	68	69	70		
実績	64.3								
指標の選定理由及び目標値の理由									
(指標の選定理由)墨東五区各種大会を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するかを図る必要があるため (目標値の理由)スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。									

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	墨東五区各種大会では、各種目を持ち回りで担当しているため、年度ごとの比較は困難であるが、毎年各種目の親睦及び技術の向上が図られている。 また、新型コロナウイルスへの対応について、国や都の動向を注視しながら、随時検討していく。

課題・問題点
<p>毎年担当種目が異なるため、効率化を図る観点等から、一つの種目において事業運営方法を大幅に変えることは困難である。また、運営方法を変更する場合は、引き継ぎ方法を踏まえ、全体で協議しなければならないため時間を要する。</p> <p>【新型コロナウイルス感染症関連】 競技によって大会規模や実施場所・方法等が異なり、感染リスクの高さにも違いがあるため、十分な感染防止対策が取れるかどうか各競技団体及び五区で協議の上、大会実施の可否を判断していく必要がある。</p>



施策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる			部内優先順位
事業名	区民納涼民踊大会				7
目的	区民体育祭の一環として実施しており、区民相互の親睦を深め、地域の活性化を図ることを目的としている。				主管課・係(担当)
					スポーツ振興課スポーツ振興担当 5608-6312
対象者	区民一般				
根拠法令 関連計画	スポーツ基本法第22条				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	(人員体制)常勤2人
事業内容	毎年8月1日から3日までの3日間の17時半から20時で区民納涼民踊大会を実施。墨田区民踊連盟が主管となり、誰でも参加できる盆踊り大会を開催する。				
経過	開始年度		終了予定		
	平成9年度までは北部と南部の2会場で実施 平成10年度～17年度:横網町公園で実施 平成18年度～23年度:錦糸公園で実施 平成24年度～現在:スカイツリータウンで実施				
議会質問 の状況					
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 令和2年度・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。				

予算・決算額推移(千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額(事業費)		1,030	1,030	1,030	1,020	0	979
A.決算額(令和3年度は見込み)		1,018	1,009	1,009	1,009	0	979
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		1,018	1,009	1,009	1,009	0	979
執行率(%)		98.8%	98.0%	98.0%	98.9%	#DIV/0!	100.0%
B.人コスト							
総事業決算額(A+B)		1,018	1,009	1,009	1,009	0	
主な事業費用の説明		主管団体への補助金					

予算書P(令和3年度)		P123-7		執行実績報告書P(令和2年度)					
事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数					単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
		1,200	R7	目標	1,000	1,000	1,000	1,000	
				実績	900	500	1,000	1,200	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目標	1,000	1,100	1,100	1,100	1,100	1,200	
	実績	0	0						
	指標の選定理由及び目標値の理由								
	(指標の選定理由)民踊を披露する場及び交流の場として、継続して参加している区民の数を計測する必要があるため (目標値の理由)積極的な広報を行うとともに、口コミ等による新たな参加者の増加も想定し、設定した。								
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「週に1回以上運動・スポーツをしている」成人区民の割合					単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1		
70		R7	目標	41	42	43	44		
			実績	38.6	38.6	40.9	40.9		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7		
目標		45	66	67	68	69	70		
実績	64.3								
指標の選定理由及び目標値の理由									
(指標の選定理由)区民納涼民踊大会を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度 変化するのかを図る必要があるため (目標値の理由)スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な 視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。									

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	昨今、参加者が急増し、区民相互の親睦・地域の活性化が図られている。今後も会場確保や誘客方策について、主管である墨田区民踊連盟及び実施場所の提供等で協力をいただいている東武タウンソラマチ(株)と協議していく。 また、新型コロナウイルスへの対応について、国や都の動向を注視しながら、随時検討していく。

課題・問題点
会場となっている東京スカイツリーのソラマチタウン1F広場が、今後も使用できるかどうか不明である。平成25年度から同施設で実施しているが、使用できなくなれば会場使用料が必要になる場合も考えられる。  【新型コロナウイルス感染症関連】 屋外での実施ではあるものの、例年非常に多くの人々が密集・密接するため、感染リスクが高い。十分な感染防止対策が取れるかどうか墨田区民踊連盟及び東武タウンソラマチ(株)と協議の上、大会実施の可否を判断していく必要がある。

補助金 名称	区民納涼民踊大会補助金		主管課・係（担当）			
根拠法令	スポーツ振興事業補助金交付要綱		スポーツ振興課スポーツ振興担当			
補助概要	区民相互の親睦を深め、地域の活性化が図られるよう、毎年盆踊り大会を開催している。事業運営を円滑に行うため、墨田区民踊連盟に補助金を交付し、当該事業の運営管理を主管してもらっている。		5608-6312			
目的	民踊の知識・技術を持った民踊連盟に補助金を交付することで、事業運営をより円滑に行うため					
対象	墨田区民踊連盟					
基準	区独自基準					
補助条件	一般区民を対象として実施し、かつ、スポーツの普及・振興を目的とする事業					
経過	開始年度		終了予定			
	平成9年度までは北部と南部の2会場で実施 平成10年度～17年度：横網町公園で実施 平成18年度～23年度：錦糸公園で実施 平成24年度～現在：スカイツリータウンで実施					
議会質問 の状況						
その他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により大会を中止したため、補助金は交付していない。					

予算・決算額推移（千円）		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算額（事業費）		960	960	960	960	0	979
決算額（令和3年度は見込み）		960	960	960	960	0	979
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		960	960	960	960	0	979
執行率（％）		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	#DIV/0!	100.0%

	指 標	延参加者数					単 位	人	
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1		
補助金の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	1,200	R7	目標 1,000 実績 900	1,000 500	1,000 1,000	1,000 1,200		
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目標	1,000	1,100	1,100	1,100	1,100	1,200	
		実績	0						
		指標の選定理由及び目標値の理由							
		(指標の選定理由) 民踊を披露する場及び交流の場として、継続して参加している区民の数を計測する必要があるため。 (目標値の理由) 積極的な広報を行うとともに、口コミ等による新たな参加者の増加も想定し、設定した。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	「週に1回以上運動・スポーツをしている」成人区民の割合					単 位	%
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1		
		70	R7	目標 41 実績 38.6	42 38.6	43 40.9	44 40.9		
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		45	66	67	68	69	70		
実績		64.3							
指標の選定理由及び目標値の理由									
(指標の選定理由) 区民納涼民踊大会を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するのかを図る必要があるため。 (目標値の理由) スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。									
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等							
改善・見直しのうえ継続		<p>昨今、参加者が急増し、区民相互の親睦・地域の活性化が図られている。今後も会場確保や誘客方策について、主管である墨田区民踊連盟及び実施場所の提供等で協力をいただいている東武タウンソラマチ(株)と協議していく。</p> <p>また、新型コロナウイルスへの対応について、国や都の動向を注視しながら、随時検討していく。</p>							

課題・問題点
<p>会場となっている東京スカイツリーのソラマチタウン1F広場が、今後も使用できるかどうか不明である。平成25年度から同施設で実施しているが、使用できなくなれば会場使用料が必要になる場合も考えられる。</p> <p>【新型コロナウイルス感染症関連】 屋外での実施ではあるものの、例年非常に多くの方が密集・密接するため、感染リスクが高い。十分な感染防止対策が取れるかどうか墨田区民踊連盟及び東武タウンソラマチ(株)と協議の上、大会実施の可否を判断していく必要がある。</p>

施策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる			部内優先順位
事業名	姉妹区親善スポーツ大会運営費				8
目的	墨田区・台東区姉妹区親善事業の一つとして、両区のスポーツの振興と交流を目的として行う。				主管課・係(担当)
					スポーツ振興課スポーツ振興担当 5608-6312
対象者	区内在住・在勤・在学者				
根拠法令 関連計画	スポーツ基本法第22条				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	(人員体制)常勤2人
事業内容	台東区と5種目の競技(アーチェリー、剣道、ソフトテニス、庭球、サッカー)を両区で分担して各種目の競技大会を相互開催している。				
経過	開始年度	昭和53年		終了予定	
	昭和52年4月の墨田区・台東区姉妹区提携に伴い、昭和53年より両区の親善スポーツ大会を開催している。				
議会質問 の状況					
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。				

予算・決算額推移(千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額(事業費)		135	248	137	277	137	251
A.決算額(令和3年度は見込み)		88	216	89	214	0	251
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		88	216	89	214	0	251
執行率(%)		65.2%	87.1%	65.0%	77.3%	0.0%	100.0%
B.人コスト							
総事業決算額(A+B)		88	216	89	214	0	251
主な事業費用の説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場使用料</li> <li>・大会補助金</li> </ul>					

予算書P(令和3年度)		P123-9		執行実績報告書P(令和2年度)			P56-8		
事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活動指標)	指 標	延参加者数					単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
		750	R7	目 標	700	700	700	700	
				実 績	681	431	669	390	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目 標	700	750	750	750	750	750	
		実 績	0						
	指標の選定理由及び目標値の理由								
	(指標の選定理由)競技者として大会に参加する区民の数を計測する必要があるため (目標値の理由)スポーツに関心を持ち、体力・技術の向上を目的に競技者として大会に出場する参加者数の増を想定した。ただし、競技者の大幅な増加は見込めないことから、目標値は慎重に設定した。								
	目 的 に 対 する 指 標 (成果指標)	指 標	「週に1回以上運動・スポーツをしている」成人区民の割合					単 位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1		
70		R7	目 標	41	42	43	44		
			実 績	38.6	38.6	40.9	40.9		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7		
	目 標	45	66	67	68	69	70		
	実 績	64.3							
指標の選定理由及び目標値の理由									
(指標の選定理由)姉妹区親善スポーツ大会を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するかを図る必要があるため (目標値の理由)スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。									

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姉妹区としての区民交流事業であることから、費用対効果の観点では有効である。</li> <li>・新規参加者の増加や実施種目の見直しについて、共催する台東区と検討する必要がある。</li> <li>また、新型コロナウイルスへの対応について、国や都の動向を注視しながら、随時検討していく。</li> </ul>

課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者が一定の選手に限られ、より広い区民の参加を促す必要がある。</li> <li>・実施種目を見直してほしいとの要望もあることから、共催する台東区と検討する必要がある。</li> </ul> <p>【新型コロナウイルス感染症関連】 競技によって大会規模や実施場所・方法等が異なり、感染リスクの高さにも違いがあるため、十分な感染防止対策が取れるかどうか各競技団体及び台東区と協議の上、大会実施の可否を判断していく必要がある。</p>

施策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる			部内優先順位
事業名	ホームタウン・スポーツチームの育成経費				9
目的	墨田区をホームタウンとするスポーツチームを育成することにより、スポーツ振興を通じた地域コミュニティ活動の形成や活性化を図る。また、トップアスリートとの交流を通じて、子どもたちの体力向上を図る。				主管課・係(担当)
					スポーツ振興課スポーツ振興担当 5608-6312
対象者	墨田区ホームタウン・スポーツチーム(フウガドルすみだ、FC東京バレーボールチーム)、小学校児童を中心とした区民				
根拠法令	スポーツ基本法第22条				
関連計画					
実施基準	法令基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	(人員体制)常勤3人 (委託先)フウガドルすみだ、FC東京バレーボールチーム
	1 トップチームやアスリート等との交流 スポーツイベント、クリニック、ファン交流会の開催等 2 地域コミュニティ活動の形成 PFI事業者が主体となり、体育協会、サポーターズ、町会、地元商店街、総合型地域スポーツクラブ等と連携した地域密着支援組織を設置する。				
事業内容	開始年度	平成22年度	終了予定		
	平成22年度に総合体育館が開館し、総合体育館をホームタウンとするスポーツチームを誘致・育成することにより、スポーツ振興を通じた地域コミュニティ活動の形成や活性化を図る。また、総合体育館の3つの機能「する」「みる」「支える」を実現するための方策として推進している。 ・平成23年12月 フウガドルすみだと「墨田区ホームタウンチームの活動に係る連携に関する協定」を締結 ・平成30年 3月 FC東京バレーボールチームと「墨田区をホームタウンとして活動するFC東京バレーボールチームの連携に関する協定」を締結				
経過	[H27決算特別委員会(11.4)松本委員] 全庁的にもホームタウン・スポーツチームの認知度を上げる必要があるが、職員向けの福利厚生事業として、フウガドルすみだの試合チケットのあっせん、また、職員向けPR用の広報紙を掲示板に掲出したこともある。全庁で応援するためにも、全職員に知ってもらえる取組を進めていく。川崎市はバスケットなど、いろいろなチームをホームタウンチーム化して応援している。例えば、フロンターレ川崎の後援会には補助金を出すなどしているがそういった配慮をしてはどうか。 締結した協定に基づき支援を行っており、フウガが自立した運営を目指したいということで、財政援助のような直接的な援助は求めないとしている。ただ、ホームタウン・スポーツチームの育成経費を活用し、ファン交流イベントなども開催できる。 [H28第1回定例会(2.26)西村議員] 「フウガドルすみだ」との連携や、今秋に開館予定のすみだ北斎美術館との共同事業等も検討すべき。フウガドルすみだや北斎美術館との連携についても、財団と協議していく。また、日常的な情報交換や打ち合わせに加えて、両者の連携が更に深まるよう、区からも助言をしていく。 [R2第4回定例会(12.3)洪田議員] コロナ禍で大変な状況にある中で、墨田区としてできる限りの支援をしてあげてほしい。 例年実施している応援イベント等は、コロナの影響で実施できていないが、まだ中止を決定したわけではないので、連携を取りながら可能な範囲で実施していきたい。 区庁舎に展示しているユニフォーム等をもっと人目のつくところに展示してはどうか。 チームの意向を確認し、その上で場所の変更を検討する必要があるとなった場合には、総務課と相談しながら考えていきたい。				
	議会質問の状況				
その他	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)				
特記事項	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、学校訪問教室やイベントの委託事業がほとんど実施出来なかった。				

予算・決算額推移(千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額(事業費)		615	615	615	978	875	600
A.決算額(令和3年度は見込み)		100	212	374	510	160	600
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		100	212	374	510	160	600
執行率(%)		16.3%	34.5%	60.8%	52.1%	18.3%	100.0%
B.人コスト							
総事業決算額(A+B)		100	212	374	510	160	600
主な事業費用の説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>学校訪問教室用のボール、ホームタウンスポーツチーム応援グッズの購入費</li> <li>学校訪問教室、ホームタウンスポーツチーム応援イベントの委託費</li> </ul>					

予算書P (令和3年度)		P123-11		執行実績報告書P (令和2年度)			P56-9		
事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	学校訪問教室					単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
		12	R7	目標	10	10	10	10	
				実績	5	5	2	7	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目標	11	11	11	12	12	12	
		実績	3						
	指標の選定理由及び目標値の理由								
	(指標の選定理由) トップアスリートと交流する学校訪問教室の開催数を計測することで、スポーツをするきっかけとなる子ども及び競技として関わる子どもが増えることを期待しているため (目標値の理由) ホームタウン・スポーツチームは現在2チームあり、公式リーグの試合もこなしているため、訪問教室の過度な増加は見込めないことから、目標値は慎重に設定した。								
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「週に1回以上運動・スポーツをしている」成人区民の割合					単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1		
70		R7	目標	41	42	43	44		
			実績	38.6	38.6	40.9	40.9		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7		
	目標	45	66	67	68	69	70		
	実績	64.3							
指標の選定理由及び目標値の理由									
(指標の選定理由) ホームタウン・スポーツチームの育成事業を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するかを図る必要があるため (目標値の理由) スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。									

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	<p>・トップアスリートと交流できる学校訪問教室などは、参加者から好評をいただいている。地域活性化のために区が実施する必要性は高い。</p> <p>・「FC東京バレーボールチーム」は、ホームタウン協定を締結して間もないため、ホームタウン・スポーツチームとしての認知度が低いことから、「フウガドルすみだ」と併せて積極的にPRを行っていく。</p> <p>また、新型コロナウイルスへの対応について、国や都の動向を注視しながら、随時検討していく。</p>

課題・問題点
<p>・ホームゲーム会場として使用する総合体育館の会場確保がかなり困難となっており、一般利用者(区民)との共存が課題である。</p> <p>・ホームタウンチームの認知度の上昇が課題である。</p> <p>【新型コロナウイルス感染症関連】 学校訪問教室や、チームの応援イベントの実施については、感染拡大防止対策を検討する必要がある。また、「フウガドルすみだ」及び「FC東京バレーボールチーム」がそれぞれ出場しているトップリーグについて、観客数の減少が見込まれるため、ハード面ソフト面の両方からの支援が必要である。</p>



施策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる	部内優先順位			
事業名	野球場の借上げ事業					10
目的	区民に自由に野球を楽しんでもらう。					主管課・係（担当）
						スポーツ振興課
						スポーツ施設担当
対象者	区内在住・在勤・在学者					
根拠法令 関連計画	墨田区江戸川河川敷野球場（借上）運営要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	(人員体制)2人(委託先)(一財)サンケイスポーツセンターからの借上げ	
事業内容	(一財)サンケイスポーツセンターが管理する埼玉県三郷市の江戸川河川敷野球場27・28面を借り上げ、土曜日、日曜日、祝日に貸出しを行っている。					
経過	開始年度	平成7年度	終了予定	未定		
	墨田清掃工場の建設に伴い縮小した東墨田野球場の代替として、平成7年度から借上げを行っている。令和元年度から借上げ面数を土曜1面、日曜3面、祝日2面に縮小し、さらに令和3年度からは土曜1面、日曜2面、祝日1面に縮小した。理由としては、契約金額に対し利用料金収入が少なく、日曜、祝日の稼働率が高くなかったことがあげられる。					
議会質問 の状況	特になし。					
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 港区、台東区、中央区が借上げを行っている。					

予算・決算額推移（千円）		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額（事業費）		17,467	17,278	17,126	14,584	13,970	10,134
A.決算額（令和3年度は見込み）		17,467	17,278	17,126	14,584	13,970	10,134
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		17,467	17,278	17,126	14,584	13,970	10,134
執行率（％）		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
B.人コスト				1,765	1,765	1,765	
総事業決算額（A+B）		17,467	17,278	18,891	16,349	15,735	
主な事業費用の説明		予算の編成及び借上げ面数の見直し等					

予算書P (令和3年度)		P124		執行実績報告書P (令和2年度)			P57		
事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	貸出しコマ数					単 位	コマ
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
		850	R7		目標 1000	1000	1000	900	
					実績 1036	1024	1034	941	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目標	900	900	850	850	850	850	
	実績	855	642						
	指標の選定理由及び目標値の理由								
	野球場利用コマ数をどれだけ確保したかを確認することができる。借上げ面数を縮小する方針であるため、最終目標値を基準年と比較し、落として設定していたが、借上げ面数を実際に縮小していく中で、当初設定した最終目標値を令和3年度にはクリアしている。								
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	利用率					単 位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1		
80		R7		目標 80	80	80	80		
				実績 63.6	68	65.9	70		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7		
目標		80	80	80	80	80	80		
実績	68								
指標の選定理由及び目標値の理由									
実際に利用した割合が確認できる。令和3年度から日曜・祝日の借上げ面数を削減したため、利用率が目標に近づくものと考えられる。									

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
統合や縮小を検討	契約金額に対して、利用料金収入が少ないため、稼働率に応じた借上面数の見直しを進める必要がある。他方、代替の施設がないため、すぐに廃止することは難しい。

課題・問題点
契約金額に対して、利用料金収入が少ないため、財政上の観点から稼働率に応じた借上面数の見直しを進める必要がある。

施策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる			部内優先順位	
事業名	墨田区総合体育館管理運営				11	
目的	区民にスポーツをする・みる・支える機会を提供する				主管課・係(担当)	
					スポーツ振興課	
					スポーツ施設担当	
対象者	墨田区総合体育館利用者					
根拠法令 関連計画	(仮称)墨田区総合体育館建設等事業基本協定書 (仮称)墨田区総合体育館建設等事業契約書 墨田区総合体育館の管理運営に関する条例 墨田区総合体育館の管理運営に関する条例施行規則					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	(人員体制)2人(委託先)(株)すみだスポーツサポートPF!	
事業内容	・施設概要 屋内プール、トレーニング室、スタジオ、アリーナ、武道場、多目的広場(フットサル等)、多目的競技場(アーチェリー等) ・施設の管理運営・維持管理 区民にスポーツをする・みる・支える機会を提供する場として、快適で安全な施設運営を行う。					
経過	開始年度	平成22年度	終了予定	令和12年3月31日まで		
	事業契約期間:平成22年4月1日～令和12年3月31日(20年間) 多様化・増大化するスポーツ需要に応えられる施設として開館。 区民が「スポーツをする」だけでなく、「スポーツをみる」、「スポーツを支える」ことができる施設。					
議会質問の状況	R3年6月議会・藤崎議員 屋内施設では、屋内プール体育館や中小企業センター体育施設、旧文花小学校2階体育館の廃止、学校統廃合による学校体育施設も減少している。総合体育館は非常に稼働率が高く、区民やスポーツ団体から予約が取れないとの声を聞く。基本計画改定が進められる中で、施設整備を含めたスポーツ施策の方向性を定め、具現化していくためのスポーツ推進計画の策定が必要と考える。 総合体育館の予約が取りにくい状況は認識している。健康な生活を維持するうえで、スポーツを行う環境の整備は重要な課題。利用形態やニーズ調査・検証を行い、スポーツ施設全体のあり方の中で検討する。					
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 令和2年度は新型コロナウイルスの影響で利用人数が減少した。					

予算・決算額推移(千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額(事業費)		698,629	676,694	673,647	679,801	782,288	656,105
A.決算額(令和3年度は見込み)		678,184	648,010	655,918	679,801	716,108	656,105
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		678,184	648,010	655,918	679,801	716,108	656,105
執行率(%)		97.1%	95.8%	97.4%	100.0%	91.5%	100.0%
B.人コスト				7,058	7,058	7,058	
総事業決算額(A+B)		678,184	648,010	662,976	686,859	723,166	
主な事業費用の説明		予算の編成等					

予算書P(令和3年度)		P125		執行実績報告書P(令和2年度)			P58		
事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	利用人数					単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
		740,899	R7		目標	536,650	536,650	536,650	536,650
					実績	689,496	689,669	673,510	641,501
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目標	536,650	536,650	536,650	536,650	536,650	536,650	
		実績	283,116						
	指標の選定理由及び目標値の理由								
	年間利用者数を確認することができる。令和2年度利用人数については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、閉館や時間短縮営業等の措置を行ったことから、例年と比較し、大きく減少している。 目標値は、協定書における利用者目標値。								
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	利用料金収入					単 位	千円
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1		
461,263		R7		目標	461,263	461,263	461,263	461,263	
				実績	490,069	515,053	510,567	454,662	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7		
	目標	461,263	461,263	461,263	461,263	461,263	461,263		
	実績	251,933							
指標の選定理由及び目標値の理由									
20年間の収入計画に対して、どれだけの収入実績があるかを確認することができる。令和元年度及び2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館対応等により、収入計画を下回る実績となった。									

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	未だ先行き不透明な状況が続く中で、区民の健康維持とスポーツを楽しむための施設として、感染防止に細心の注意を払いながら、運営を継続していく必要がある。

課題・問題点
<p>・駐輪場対策 通勤・通学者や公園利用者等によるスポーツ施設利用者専用スペースへの駐輪により、スポーツ施設利用者が駐輪できない事態が発生している。駐輪場の増設等について検討中。</p> <p>・コロナ禍での運営 今後の新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら、ウィズコロナ、ポストコロナでの体育館の在り方も検討しながら、運営の安定化を目指していく。</p>

施策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる				部内優先順位
事業名	スポーツプラザ梅若管理運営費				12	
目的	区民のスポーツ活動及び健康・体力づくりを行う拠点施設として管理運営を行う。				主管課・係（担当）	
					スポーツ振興課	
					スポーツ施設担当	
対象者	スポーツプラザ梅若利用者					
根拠法令 関連計画	スポーツプラザ梅若条例 スポーツプラザ梅若条例施行規則					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	(人員体制)2人 (委託先)コナミスポーツ・セントラルエンジニアリンググループ	
事業内容	・施設概要 体育館、会議室、トレーニング室、体力測定室 ・施設の管理運営・維持管理 区民のスポーツ活動及び健康・体力づくりの場として、施設の管理運営等を行う。					
経過	開始年度	平成12年		終了予定		
	平成12年4月に区民のスポーツ活動及び健康・体力づくりを行う拠点施設として開館した。 平成18年4月から指定管理者制度を導入して、更なる区民サービスの向上と経費の節減等を図る。 第1期：平成18年4月1日～平成21年3月31日（3年間） 第2期：平成21年4月1日～平成26年3月31日（5年間） 第3期：平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間） 第4期（現在）：平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）					
議会質問の状況	特になし。					
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 令和2年度は新型コロナウイルスの影響で利用人数が減少した。					

予算・決算額推移（千円）		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
予算現額（事業費）		48,344	101,907	84,482	96,430	90,958	51,236	
A.決算額（令和3年度は見込み）		46,335	81,072	67,891	76,220	74,819	51,236	
財源	国							
	都							
	その他	4,603	6,310	4,148	3,806	2,594	4,119	
一般財源		41,732	74,762	63,743	72,414	72,225	47,117	
執行率（％）		95.8%	79.6%	80.4%	79.0%	82.3%	100.0%	
B.人コスト				2,647	2,647	2,647		
総事業決算額（A+B）		46,335	81,072	70,538	78,867	77,466		
主な事業費用の説明		指定管理委託料等						

予算書P(令和3年度)		P125		執行実績報告書P(令和2年度)			P58	
事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	利用人数				単位	人
		最終目標値	目標年度		H28	H29	H30	(基準年)R1
		86,000	R5	目標				85,000
				実績				77,484
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	86,000	86,000	86,000	86,000		
		実績	46,719					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	スポーツ活動及び健康・体力づくり施設としての役割を達成しているかの確認となるため。現指定管理期間の終期が令和5年度のため、目標年度は令和5年度で設定した。新型コロナウイルスの影響を加味し、コロナ禍前の利用人数に戻すことを目標とする。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	利用料金収入				単位	千円
最終目標値		目標年度		H28	H29	H30	(基準年)R1	
13,746		R5	目標				13,283	
			実績				14,446	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	目標	13,746	13,746	13,746	13,746			
	実績	10,039						
指標の選定理由及び目標値の理由								
指定事業における需要の増減が確認できるため。現指定管理期間の終期が令和5年度のため、目標年度は令和5年度で設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	体育館の需要が高く、スポーツ及び健康・体力づくりを行う場として必要な施設であるため、運営を継続する。

課題・問題点
<p>○コロナ禍での運営 今後の新型コロナウイルス感染症の影響に注視しながら、ウィズコロナ、ポストコロナでの在り方を検討しながら、運営の安定化を目指していく。</p>

施策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる				部内優先順位
事業名	両国屋内プール管理運営費				13	
目的	区民の健康・体力づくりを行う施設として管理運営を行う。				主管課・係(担当)	
					スポーツ振興課	
					スポーツ施設担当	
対象者	両国屋内プール利用者					
根拠法令 関連計画	両国屋内プール条例 両国屋内プール条例施行規則					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	(人員体制)2人 (委託先)コナミスポーツ・セントラルエンジニアリンググループ	
事業内容	・施設概要 プール(25m×7コース) ・施設の管理運営・維持管理 区民の健康・体力づくりの場として、施設の管理運営等を行う。					
経過	開始年度	平成11年		終了予定		
	平成11年8月に区民の健康・体力づくりを行う施設として開館した。 平成18年4月から指定管理者制度を導入して、更なる区民サービスの向上と経費の節減等を図る。 第1期:平成18年4月1日～平成21年3月31日(3年間) 第2期:平成21年4月1日～平成26年3月31日(5年間) 第3期:平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年間) 第4期(現在):平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)					
議会質問の状況	特になし。					
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 令和2年度は新型コロナウイルス及び工事の影響で利用人数が減少した。					

予算・決算額推移(千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額(事業費)		104,478	111,562	112,365	181,110	247,604	133,841
A.決算額(令和3年度は見込み)		98,298	107,150	106,216	167,130	219,917	133,841
財源	国						
	都						
	その他	5,705	3,741	5,341	4,777	20,228	5,263
一般財源		92,593	103,409	100,875	162,353	199,689	128,578
執行率(%)		94.1%	96.0%	94.5%	92.3%	88.8%	100.0%
B.人コスト				2,647	2,647	2,647	
総事業決算額(A+B)		98,298	107,150	108,863	169,777	222,564	
主な事業費用の説明		指定管理委託料等					

予算書P（令和3年度）		P126		執行実績報告書P（令和2年度）			P59	
事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	利用人数				単位	人
		最終目標値	目標年度		H28	H29	H30	(基準年)R1
		74,000	R5	目標				74,000
				実績				70,144
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	74,000	74,000	74,000	74,000		
		実績	34,953					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	健康・体力づくり施設としての役割を達成しているかの確認となるため。 現指定管理期間の終期が令和5年度のため、目標年度は令和5年度で設定した。 新型コロナウイルスの影響を加味し、コロナ禍前の利用人数に戻すことを目標とする。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	利用料金収入				単位	千円
最終目標値		目標年度		H28	H29	H30	(基準年)R1	
17,696		R5	目標				17,415	
			実績				18,129	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	目標	17,696	17,696	17,696	17,696			
	実績	11,130						
指標の選定理由及び目標値の理由								
指定事業における需要の増減が確認できるため。 現指定管理期間の終期が令和5年度のため、目標年度は令和5年度で設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区内のプール施設が少なく、健康・体力づくりを行う場として必要な施設であるため、運営を継続する。

課題・問題点
<p>○コロナ禍での運営 今後の新型コロナウイルス感染症の影響に注視しながら、ウィズコロナ、ポストコロナでの在り方を検討しながら、運営の安定化を目指していく。</p>



施策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる				部内優先順位
事業名	スポーツ健康センター管理運営費				14	
目的	区民のレクリエーション普及振興及び健康増進を図る施設として管理運営を行う。				主管課・係(担当)	
					スポーツ振興課	
					スポーツ施設担当	
対象者	すみだスポーツ健康センター利用者					
根拠法令 関連計画	すみだスポーツ健康センター条例 すみだスポーツ健康センター条例施行規則					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	(人員体制)2人 (委託先)住友不動産エスフォルタ・住友不動産建物サービス・アズビル共同企業体	
事業内容	・施設概要 プール(25m×4コース)、流れるプール、子どもプール、幼児プール、ジャグジー、ウォータースライダー ・施設の管理運営・維持管理 区民のレクリエーション普及振興及び健康増進を図る場として、施設の管理運営等を行う。					
経過	開始年度	平成12年		終了予定		
	平成12年7月に区民のレクリエーション普及振興及び健康増進を図る施設として開館した。 平成18年4月から指定管理者制度を導入して、更なる区民サービスの向上と経費の節減等を図る。 第1期:平成18年4月1日～平成21年3月31日(3年間) 第2期:平成21年4月1日～平成26年3月31日(5年間) 第3期:平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年間) 第4期(現在):平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)					
議会質問の状況	特になし。					
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 令和2年度は新型コロナウイルス及び工事の影響で利用人数が減少した。					

予算・決算額推移(千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
予算現額(事業費)		100,581	178,500	94,334	102,540	199,192	207,641	
A.決算額(令和3年度は見込み)		99,044	164,203	88,882	101,489	158,902	207,641	
財源	国							
	都							
	その他			8,864	8,244	1,872	7,200	
一般財源		99,044	164,203	80,018	93,245	157,030	200,441	
執行率(%)		98.5%	92.0%	94.2%	99.0%	79.8%	100.0%	
B.人コスト				2,467	2,647	2,647		
総事業決算額(A+B)		99,044	164,203	91,349	104,136	161,549		
主な事業費用の説明		指定管理委託料等						

予算書P（令和3年度）		P126		執行実績報告書P（令和2年度）			P60	
事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	利用人数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		H28	H29	H30	(基準年)R1
		100,000	R5	目標				146,244
				実績				140,720
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	145,581	98,937	98,937	98,937		
	実績	34,818						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	レクリエーション普及振興及び健康増進施設としての役割を達成しているかの確認となるため。 現指定管理期間の終期が令和5年度のため、目標年度は令和5年度で設定した。 令和3年度より新型コロナウイルスの影響を考慮した目標人数設定とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	利用料金収入				単 位	千円
最終目標値		目標年度		H28	H29	H30	(基準年)R1	
65,826		R5	目標				65,826	
			実績				63,147	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		65,826	65,826	65,826	65,826			
実績	12,473							
指標の選定理由及び目標値の理由								
指定事業における需要の増減が確認できるため。 現指定管理期間の終期が令和5年度のため、目標年度は令和5年度で設定した。 令和2年度については、新型コロナウイルスの影響で収支計画の見直しを行ったため、見直し後の利用料金収入の目標値は14,135千円となった。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区内のプール施設が少なく、レクリエーション普及振興及び健康増進の場として必要な施設であるため、運営を継続する。

課題・問題点
<p>○コロナ禍での運営 今後の新型コロナウイルス感染症の影響に注視しながら、ウィズコロナ、ポストコロナでの在り方を検討しながら、運営の安定化を目指していく。</p>

施策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる			部内優先順位
事業名	総合運動場管理運営費				15
目的	区民のスポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、健康で文花的な区民生活の向上に寄与するとともに、世代間、地域間等の多様な交流を促進し、地域力の向上に資することを目的とし、施設の管理運営を行う。				主管課・係（担当）
					スポーツ振興課
					スポーツ施設担当
対象者	墨田区総合運動場利用者				
根拠法令 関連計画	墨田区総合運動場条例 墨田区総合運動場条例施行規則				
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	(人員体制)2人 (委託先)すみだFTパートナーズ
事業内容	・施設概要 トラック&フィールド、トレーニング室、会議室、多目的室、調理室、宿泊室 ・施設の管理運営・維持管理 区民のスポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、健康で文花的な区民生活の向上に寄与するとともに、世代間、地域間等の多様な交流を促進し、地域力の向上に資することを目的とした施設の管理運営を行う。				
経過	開始年度	令和元年	終了予定		
	令和元年12月に開場した(指定管理者制度導入済)。 第1期(現在):令和元年12月1日~令和6年3月31日(5年間)				
議会質問の状況	[R2決算特別委員会(10.23)じんの委員] コロナの影響があっても利用者数が伸びているということだが、詳細を伺いたい。また、宿泊の利用はどうだったか。屋外施設ということもあり、昨年度の1~3月の平均と比べ令和2年8月の利用者数が上昇している。屋内の利用者も同様に増えている。宿泊の利用も予約は入っていたが、多くはコロナによりキャンセルとなった。 今後、宿泊や施設利用についてどのように推進していくのか。 企業運動会などの事業を実施し、宿泊につなげていくということも予定していたが、コロナの影響で実施できないということもあった。コロナが収束し事業を実施することで、総合運動場の魅力を発信できればと考えている。				
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)				

予算・決算額推移(千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額(事業費)					36,728	78,987	69,078
A.決算額(令和3年度は見込み)					29,259	57,884	69,078
財源	国						
	都						
	その他				470	1,400	1,400
一般財源		0	0	0	28,789	56,484	67,678
執行率(%)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	79.7%	73.3%	100.0%
B.人コスト					4,411	2,647	
総事業決算額(A+B)		0	0		33,670	60,531	
主な事業費用の説明		指定管理委託料等					

予算書P(令和3年度)		P126		執行実績報告書P(令和2年度)			P60	
事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	利用人数				単位	人
		最終目標値	目標年度		H28	H29	H30	(基準年)R1
		131,000	R5	目標				21,867
				実績				25,914
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	95,026	130,404	130,404	130,404		
	実績	68,490						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区民のスポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、健康で文花的な区民生活の向上に寄与するとともに、世代間、地域間等の多様な交流を促進し、地域力の向上に資する施設としての役割を達成しているかの確認となるため。現指定管理期間の終期が令和5年度のため、目標年度は令和5年度で設定した。令和3年度より新型コロナウイルスの影響を考慮した目標人数設定とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	利用料金収入				単位	千円
最終目標値		目標年度		H28	H29	H30	(基準年)R1	
20,000		R5	目標				5,813	
			実績				4,581	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		27,371	19,361	20,000	21,000			
実績	17,473							
指標の選定理由及び目標値の理由								
指定事業における需要の増減が確認できるため。現指定管理期間の終期が令和5年度のため、目標年度は令和5年度で設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	新規立ち上げ施設であり、稼働率や利用者ニーズを考慮したうえで、施設の活用方法を検討していく。

課題・問題点
<p>○コロナ禍での運営 今後の新型コロナウイルス感染症の影響に注視しながら、ウィズコロナ、ポストコロナでの在り方を検討しながら、運営の安定化を目指していく。</p>